

令和元年度実施

平成30年度

教育に関する事務の管理及び執行状況
点検・評価報告書

令和元年10月

米子市日吉津村中学校組合教育委員会

目 次

- 1 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1
- 2 米子市日吉津村中学校組合教育委員会について・・・・・・ P. 1
- 3 箕蚊屋中学校の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1
- 4 教育委員会の構成及び会議の開催状況・・・・・・・・・・ P. 2
- 5 教育委員会での審議状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 2
- 6 点検・評価と米子市教育振興基本計画について・・・・・・ P. 3
- 7 点検・評価の方法について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 3
- 8 点検・評価結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 4
- 9 点検・評価票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 6
- 10 学識経験者の知見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 28
- 別紙 米子市教育振興基本計画体系図・・・・・・・・・・・・ P. 29

1 点検・評価の目的

米子市日吉津村中学校組合教育委員会では、平成20年度から毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しています。（「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、地方教育行政法）第26条の規定に基づく点検・評価及び公表）

その目的は、自ら事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、課題や問題点を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていこうとするものです。

2 米子市日吉津村中学校組合教育委員会について

米子市日吉津村中学校組合は、組合を組織する米子市（巖地区、春日地区、伯仙地区）と日吉津村の中学校事務を共同処理するため、組合立箕蚊屋中学校を設置し、箕蚊屋中学校に関する教育事務を管理執行するもので、組合の執行機関としての教育委員会は、地方教育行政法第21条に規定する事務を管理執行しています。

3 箕蚊屋中学校の状況

箕蚊屋中学校の状況は次のとおりです。

(1) 生徒数及び学級数（平成30年5月1日現在）

（単位：人、学級）

区分	1学年	2学年	3学年	特別支援	合計
男子	89	56	96	7	248
女子	75	80	79	1	235
合計	164	136	175	8	483
学級数	5	4	5	3	17

(2) 学校施設

区 分	施 設 規 模	
校地面積	27,935 m ²	
建物延べ床面積	6,529 m ²	
内 訳	本校舎	鉄筋コンクリート造3階建 (3,107 m ²)
	特別教室棟	鉄骨造2階建 (1,690 m ²)
	体育館	鉄骨造平屋建 (936 m ²)
	武道館	鉄骨造平屋建 (300 m ²)
	その他	部室、倉庫、灯油庫、プロパン庫 (計 424 m ²)
プール施設	2,242 m ² (建物部分は 72 m ²)	

4 教育委員会の構成及び会議の開催状況

(1) 教育委員会の構成

米子市日吉津村中学校組合教育委員会委員名簿 (H30. 4. 1~H31. 3. 31)

職名	氏名	任期	備考
委員	井田博之	H29. 10. 29~R3. 10. 28	教育長職務代理者 日吉津村教育委員会教育長
委員	金山正義	H27. 3. 31~H30. 10. 23 H30. 10. 24~R4. 10. 23	任期満了 米子市教育委員会委員
委員	松本公文	H28. 8. 10~R1. 10. 26	日吉津村教育委員会委員
委員	荒川陽子	H28. 10. 4~R2. 10. 3	米子市教育委員会委員
教育長	浦林実	H30. 4. 1~R1. 10. 3	米子市教育委員会教育長

(2) 会議の開催状況

教育委員会の会議は必要に応じて開催し、平成30年度は3回開催しています。

5 教育委員会での審議状況

教育委員会で平成30年度に審議したものは、次のとおりです。

※議案番号は、暦年で付しています。

- 平成30年米子市日吉津村中学校組合教育委員会 (平成30年10月9日)
議案第7号 平成29年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
- 平成30年米子市日吉津村中学校組合教育委員会 (平成30年11月27日)
議案第8号 平成30年度米子市日吉津村中学校組合一般会計補正予算 (補正第1回) について
- 平成31年米子市日吉津村中学校組合教育委員会 (平成31年3月13日)
議案第1号 組合立学校の県費負担教職員の異動の内申について
議案第2号 平成30年度米子市日吉津村中学校組合一般会計補正予算 (補正第2回) について
議案第3号 平成31年度米子市日吉津村中学校組合一般会計予算について
議案第4号 鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置について
- その他
議案第6号 平成31年度及び平成32年度に使用する中学校「特別の教科道徳」教科用図書の採択について
議案第9号 平成30年度米子市日吉津村中学校組合一般会計補正予算 (補正第1回) について ※特例交付金額内示による予算書変更

6 点検・評価と米子市教育振興基本計画について

米子市教育委員会では、平成24年度に策定した「米子市教育振興基本計画」(以下「基本計画」といいます。)において、教育の基本理念や基本目標からなる基本構想を実現するための取組を示した基本施策については、平成29年度からの5年間の後期期間の見直しを行い、体系的かつ効果的な教育の基本施策を実施しています。

箕蚊屋中学校は、組合立の学校ですが、運用として米子市立中学校と一体的に扱われ、同一步調の教育方針により教育が推進されています。

このため、学習指導、生徒指導等に関する教育はもとより、学校運営に関する事務についても米子市立中学校と同様に処理されています。

平成30年度に実施した事務の管理及び執行状況の点検・評価に当たり、本組合教育委員会は、関係する8つの基本施策について、その推進状況や課題等を踏まえて評価を行いました。

平成30年度事務の管理及び執行状況において点検・評価した基本施策

- 基本施策1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成
- 基本施策2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成
- 基本施策2-2 安全で安心な学校施設の改善
- 基本施策2-3 環境に配慮した学校教育環境整備の推進
- 基本施策2-4 学校のICT環境の整備
- 基本施策2-5 通学路の安全確保
- 基本施策2-6 学校図書館の充実
- 基本施策4-1 健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成

7 点検・評価の方法について

(1) 点検・評価の流れ

- ① まず、各担当課において、後期基本施策に該当する「主な取組(個別事業)」について点検・評価を行い、その結果を総合して基本施策の評価を行いました。(1次評価)
- ② 次に、教育委員会事務局及び関係各課で組織する評価委員会が、各担当課の評価を参考にして基本施策の評価を行いました。(2次評価)
- ③ 最後に、組合教育委員会が、評価委員会の評価を参考にして、基本施策の最終的な評価を行いました。(3次評価)

(2) 点検・評価の区分

「主な取組(個別事業)」の点検・評価については、取組状況及び数値目標に対する実績を評価基準に基づき◎から×の4段階で評価しました。

評価区分		内 容
◎	達成	優れた取組や状況等が見られ、数値目標が100%以上となり、順調に目標が達成されたもの
○	概ね達成	良い取組や状況等が見られ、数値目標が80%以上となり、概ね順調に目標が達成されたもの
△	あまり達成できなかった	課題が少なからずあり、数値目標が80%未満となり、目標があまり達成できなかったもの または、一定の成果はあったが新たな課題が生じたもの
×	未達成	課題が多く、まだ改善に向けた取組に着手できていないか、着手してもほとんど成果が上がらないなど、目標がほとんど達成できなかったもの

基本施策評価（総合評価）については、主な取組（事務事業名）の評価及び取組状況の総括を参考に、基本計画の後期期間（平成29年度～令和3年度）において、評価年度での基本施策の到達度の観点から、総合的にSからDの5段階で評価しました。

評価区分		内 容
S	目標達成	基本施策において、全ての取組の目標が達成されたもの
A	順調	基本施策において、取組の進捗状況が順調なもの
B	概ね順調	基本施策において、取組の進捗状況が概ね順調なもの
C	やや遅れている	基本施策において、取組の進捗状況がやや遅れているもの
D	遅れている	基本施策において、全ての取組の進捗状況が遅れているもの

※前年度の指摘事項により、総合評価の区分を変更しました。

8 点検・評価結果の概要

(1) 総合評価

評価した8つの基本施策のうち、順調としたもの（A）は7施策、概ね順調としたもの（B）は1施策となり、やや遅れている、遅れているもの（C、D）はありませんでした。

全体として順調に進捗したものと評価しています。

なお、順調（A）と評価した基本施策においても、主な取組（個別事業）には、概ね達成（○）もあることから、個別に課題のある事業について、数値目標への対応を図っていく必要があります。

基 本 施 策	評 価
1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成	A
2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成	A
2-2 安全で安心な学校施設の改善	A
2-3 環境に配慮した学校教育環境整備の推進	A

2-4	学校のICT環境の整備	B
2-5	通学路の安全確保	A
2-6	学校図書館の充実	A
4-1	健康でたくましく、命を大切にすることの育成	A

(2) 基本施策ごとの評価

基本施策ごとに見ると、「豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成」では、順調（A）の評価となっています。

スクールソーシャルワーカーを活用し、地域での子どもの様子からも問題を把握できるので、地域と学校の情報共有に連携を強める工夫をするようにとの意見や、楽しく安全な学校づくりサミットを通して小中学生が一緒に活動するのは、小学生が中学生からリーダーシップや自治を学ぶ良い取り組みで、保護者にも子どもの考えが伝わることで、良い影響を及ぼすとの見識がありました。

次に、「確かな学力を身につけた子どもの育成」では、順調（A）の評価となっています。

長時間のSNSやインターネット利用において、悪口を書き込むなど間違った使い方は子どもにとって大きな問題であり、情報モラル教育にしっかりと取り組むようにとの指摘がありました。

また、特別支援教育の充実について、年度目標に見合った数値目標に工夫するよう意見がありました。

次に、「安全で安心な学校施設の改善」と「環境に配慮した学校教育環境整備の推進」は、順調（A）の評価となっています。特別教室のエアコンなど老朽化した設備について、順次更新を進めることや、学校は避難所になるので、バリアフリー化をさらに充実してほしいとの意見がありました。

「学校のICT環境の整備」は、概ね順調（B）の評価となっています。

教科書にあわせた授業を行うので、ICT機器等の導入は統一された方がよいとの意見や、ICT機器活用の良い取り組みを共有するなど、効率的・効果的な活用が必要との意見がありました。

次に、「通学路の安全確保」と「学校図書館の充実」は、順調（A）の評価となっています。

全国学力・学習状況調査結果では、読書時間が前年度を下回っているにもかかわらず、1人当たりの年間貸出冊数は増加した要因を分析して、図書館教育の充実につなげるよう意見がありました。

最後に、「健康でたくましく、命を大切にすることの育成」では、順調（A）の評価となっています。

全国平均値を下回っている体力向上の取り組みを学校から保護者へ伝え、家庭でも取り組める事があるので、連携をより密接にするよう意見がありました。

9 点検・評価票

基本施策の点検・評価（様式2）に続けて個別事業の評価票（様式1）を掲載しております。

令和元年度実施

平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会

所属 学校教育課 指導担当・人権教育担当

基本施策	番号	1-1	
	項目名	豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成	
	概要	<p>昨今の子どもたちには、他者と協調し、人を思いやる心や感動する心、自尊感情の希薄さが見受けられる。また、そうした背景の中で起こるいじめ、不登校、学級が機能しない状況など、様々な課題が見られる。</p> <p>そこで、自他を尊重する態度の育成と生徒の自主的・自発的な活動を推進するため、様々な分野の教育の充実に努める。</p>	
所管	学校教育課 指導担当・人権教育担当		
主な取組※ (事務事業名)	番号※	事務事業名※	個別事業評価※
	①	心の教育の充実	◎
	②	人権教育の充実	◎
	③	生徒指導の充実	○
	④	キャリア教育の充実	○
	⑤	環境教育の充実	◎
取組状況の総括	<p>【成果と課題】</p> <p>米子市版小中一貫教育推進事業を核として、生徒の自主的・自発的な活動を推進してきている。また、スクールソーシャルワーカー活用事業やフレンドリールーム事業を推進する中で、福祉的な視点からの関係機関連携や不登校生徒の学校復帰に向けた受け皿としての体制が整いつつある。ただし、いじめ・不登校の数の大幅な減少には至っていない。</p> <p>【改善策】</p> <p>引き続きいじめや不登校の未然防止及び初期対応に係る校内体制の整備に努めるとともに、関係機関との連携を密にする。また、中高接続時の切れ目のない支援体制の構築に努める。</p>		
基本施策評価※ (総合評価)	S (A) B C D		
評価理由※	いじめ・不登校の数の著しい減少には至っていないものの、各事業の数値目標の達成状況と、内容的な前進を勘案し、この評価とした。		
教育委員の 意見・指摘	特段の意見及び指摘事項なし。		

注) 点検評価の基本施策は、「米子市教育振興基本計画」を用いるため、「児童生徒」は「生徒」に読みかえる。

令和元年度実施 平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1

米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策 主な取組※	専 務 事 業 名※ 概 要※	H 3 0 年 度 目 標 及 び 数 値 目 標	取 組 状 況 及 び 成 果	個 別 事 業 評 価
1-1 ①心の教育の充実	<p>米子市小中一貫教育推進事業</p> <p>義務教育の9年間の学びを連続したものととらえ、各中学校区で「めざす子ども像」を共有し、内容を系統化したり、指導を継続化したりすることによって、学校教育における課題を解決し、確かな学力の定着や豊かな人間性と創造力の育成を図る。</p> <p>各校区の最新の年間構造図を作成するとともに、取組の実践事例集を作成し、各校区の情報を全市で共有する。また、児童生徒の自主的・自発的な取組の一環として、本市すべての小中学校が合同で「楽しく安心な学校づくりサミット」開催する。</p> <p>各中学校区の推進協議会に担当指導主事が参加し、推進状況の把握と取組への助言を行う。</p>	<p>中学校区の取組のさらなる充実を図るとともに、情報共有・情報発信を行う。特に児童生徒の自主的・自発的な取組に重点を置き推進する。</p> <p>【数値目標】 ※全国学力学習状況調査の質問紙調査における「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありませんか」という項目で肯定的な回答の増加を目指す。「肯定的な回答の割合」が全国平均値を上回る。 <参考値> H29年度 [中学校] 全国49.7%</p>	<p>中学校区の取組のさらなる充実を図った結果、ボランティア体験または、奉仕作業に係る取組が行われた。</p> <p>【数値目標の実績】 ※H30年度：全国平均値を大きく上回った。</p> <p>【成果】 地域の方をゲストティーチャーとして招いて交流したり、その地域の特色・優れていること・人物などを取り上げた題材を活用した取組を行った。 市内の各中学校区で取組を共有したり、情報発信をしたりしたことで、効果的な実践となった。引き続き、自主的・自発的な取組を推進していく。</p>	◎
1-1 ②人権教育の充実	<p>人権教育推進事業</p> <p>中学校区を指定し、学校、家庭、地域が一体となった取組や、学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に係る研究を実施し、人権教育の一層の推進を図る。</p>	<p>H28年度に箕蚊屋中学校区が研究指定を受けて積み重ねた研究実践を、継続して進める。さらに、H29年度尚徳中学校区、H30年度淀江中学校区において研究実践・報告なされたものをうまく取り入れながら研究を進める。</p> <p>【数値目標】 ※全国学力学習状況調査の質問紙調査における「自分には、よいところがあると思いますか」という項目で肯定的な回答の割合が、全国平均値を上回る。 <参考値> H29年度 [中学校] 全国78.8%</p>	<p>H28年度に箕蚊屋中学校区が研究指定を受けて積み重ねた研究実践を、継続して進めた。特に校区各学校の研究組織に共通の3専門部会を置き、共通実践の実施や情報交換等を行いながら共同研究を推進した。また、淀江中学校区の研究会に教職員が参加した。</p> <p>【数値目標の実績】 H30年度：全国平均値を上回った。</p>	◎

基本施策 主な取組※	事務事業名※ 概要※	H30年度目標 及び数値目標	取組状況及び成果	個別事業 評価
1-1 ③生徒指導の充実	いじめ・不登校対応 小中連携、小小連携を基盤として、不登校の児童生徒数の減少に努める。また、「米子市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期解決ができるように各学校での教職員の意識向上を図り、指導を行う。	中学校区での安心・安全な学校づくりの取組をさらに充実し、よりよい生活環境を自らの手で築き上げようとする心情を育み、いじめ防止、早期発見、早期解決、不登校の減少につなげていく。 【数値目標】 ※新規の不登校生徒数の割合が参考値（H29年度市平均）を下回る。 <参考値> H29年度：0.56%	「米子市児童・生徒会自治力向上事業」を充実させた。生徒指導担当者会で情報交換を行い、中学校生徒代表会や米子市全体としてのサミット、各校の自治の取組の充実を図った。 中学校区で、児童生徒が直接交流するリーダー研修会や交流会を行った。 8月に「楽しく安心な学校づくりサミット」を開催し、児童生徒・教職員の意識向上と市民へ情報発信した。 【数値目標の実績】 ※H30年度：参考値を下回った。 【成果】 自治の取組が、いじめに対する気づきや解消に向けた生徒の主体性や意識の向上につながった。また、教職員の気づきや早期対応につながる事例が増えた。	◎
1-1 ③生徒指導の充実	スクールソーシャルワーカー活用事業 問題を抱えた児童生徒に対し、福祉的な視点で多様な支援を行うために、スクールソーシャルワーカー（SSW）を継続的に配置する。	各学校での定例会において情報の共有を行うとともに、関係機関との連携を強化する。また、多様なケースに対応できるようスーパーバイザーと連携していく。 【数値目標】 ※SSWの配置数3名	SSWとスーパーバイザーが連携して学校の相談に対応した。また、SSWが定例会やケース会議に参加し、福祉的な視点で学校と連携し、生徒、保護者への対応を行った。 【数値目標の実績】 ※SSWの配置数 H30年度 SSW3名（内、スーパーバイザー2名） 【成果】 学校からの相談が多岐にわたり、学校からのケースワーク等の要望も増えた。また、児童相談所、警察、医療機関等との連携がスムーズになった。	◎
1-1 ③生徒指導の充実	不登校・いじめ対策事業（フレンドリールーム事業） 適応指導教室を設置し、不登校児童生徒を受け入れ、学習支援を行う。	在籍校との連携を図りながら学習の習慣化を図るとともに、体験活動やソーシャルスキルトレーニングによりコミュニケーション力を育み、全員が学校に復帰できるようにする。 【数値目標】 ※全員が学校に復帰	2名の非常勤職員を配置し、学校復帰を目指す児童生徒の支援を行った。 【数値目標の実績】 ※学校復帰には至っていないが、好ましい変化が見られるようになった。 【成果】 学校復帰に至っていないが生活習慣が改善された生徒があった。また、中学3年生は卒業後、高校へ進学した。	○

基本施策 主な取組※	事務事業名※ 概要※	H30年度目標 及び数値目標	取組状況及び成果	個別事業 評価
1-1 ④キャリア教育の 充実	<p>米子市小中一貫教育推進事業（再掲載）</p> <p>義務教育の9年間の学びを連続したものととらえ、各中学校区で「めざす子ども像」を共有し、内容を系統化したり、指導を継続化したりすることによって、学校教育における課題を解決し、確かな学力の定着や豊かな人間性と創造力の育成を図る。</p> <p>各校区の最新の年間構造図を作成するとともに、取組の実践事例集を作成し、各校区の情報を全市で共有する。また、児童生徒の自主的・自発的な取組の一環として、本市すべての小中学校が合同で「楽しく安心な学校づくりサミット」開催する。</p> <p>各中学校区の推進協議会に担当指導主事が参加し、推進状況の把握と取組への助言を行う。</p>	<p>生徒が将来、自立した社会人として積極的に社会参画できるよう、自分を見つめ、自分の適性について理解を深めたり、働くことの大切さや人の役に立つことの喜びを実感したりする系統的な学習活動の充実を図る。</p> <p>【数値目標】 ※全国学力学習状況調査質問紙調査における「将来の夢や目標を持っていますか」という項目で肯定的な回答が参考値とほぼ同値または上回る。 <参考値> 全国 H29年度 [中学校]：66.6%</p>	<p>キャリア教育の充実を図るために様々な取組を行った。職場体験を通じて勤労に対する意識を高めたり、進路学習を充実させたりしている。</p> <p>【数値目標の実績】 [中学校] H30年度：参考値とほぼ同値であった。</p> <p>【成果】 本市が取り組んでいる小中サミットが、中学生にとって自尊感情の高揚や役立ち感を持つ機会となり、サミットの経験が生きる力を育てている。</p>	○
1-1 ⑤環境教育の 充実	<p>米子市小中一貫教育推進事業（再掲載）</p> <p>義務教育の9年間の学びを連続したものととらえ、各中学校区で「めざす子ども像」を共有し、内容を系統化したり、指導を継続化したりすることによって、学校教育における課題を解決し、確かな学力の定着や豊かな人間性と創造力の育成を図る。</p> <p>各校区の最新の年間構造図を作成するとともに、取組の実践事例集を作成し、各校区の情報を全市で共有する。また、児童生徒の自主的・自発的な取組の一環として、本市すべての小中学校が合同で「楽しく安心な学校づくりサミット」開催する。</p> <p>各中学校区の推進協議会に担当指導主事が参加し、推進状況の把握と取組への助言を行う。</p>	<p>環境問題に関心をもち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境問題を自分と関係づけながら持続可能な社会の実現を目指し、よりよい環境づくりのために配慮した行動をとることができる実践力を育成する。</p> <p>【数値目標】 ※学校でリサイクル活動などの環境保全に係る取組を行う。</p>	<p>主な取組としてはリサイクル活動、ゴミの分別や削減、ゴミ収集活動など、市内の全小中学校で環境保全に係る取組を実施した。</p> <p>【数値目標の実績】 ※学校でリサイクル活動などの環境保全に係る取組を行った。 H30年度：100%</p> <p>【成果】 主に美化委員会を通じた生徒の自主的・自発的な取組を通じて、よりよい環境を作ろうとする主体的な行動が充実した。</p>	◎

令和元年度実施
平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 学校教育課 指導担当

基本施策	番号	2-1	
	項目名	確かな学力を身につけた子どもの育成	
	概要	<p>「生きる力」を育むためには、知識・技能や思考力・判断力・表現力、学習意欲などの確かな学力の育成が必要である。米子市の子どもは、習得した知識を活用する力を伸ばすことや計画的な家庭学習の定着などに課題がある。</p> <p>そこで、今後は、全教育活動を通して育む学力形成、子ども一人一人に応じたきめ細かな指導、小学校との連携を図る教育、家庭との連携などに取り組む。</p>	
所管	学校教育課 指導担当		
主な取組※ (事務事業名)	番号※	事務事業名※	個別事業評価※
	①	学力の向上を図る学びの充実	○
	②	特別支援教育の充実	◎
	③	外国語活動・英語教育の充実	◎
	④	図書館教育の充実	○
	⑤	情報教育の充実	◎
取組状況の総括	<p>【成果と課題】</p> <p>全国学力調査において、中学校国語・数学・英語のいずれも、全国の平均正答率を概ね下回ったものの、学習に対する意識は好転してきている。特別支援教育については、ユニバーサルデザインの授業づくりや通級指導教室の充実など体制整備に努めている。また、情報モラルのカリキュラムを整備・活用するなど、情報教育に係る取組も充実してきている。</p> <p>【改善策】</p> <p>中学校区全体で、PDCA サイクルで指導と評価が一体となった取組を推進するとともに、小学校からの一貫した指導、及び発達段階に応じた系統的な指導体制を構築する。</p>		
基本施策評価※ (総合評価)	S	(A)	B C D
評価理由※	<p>学力向上に課題が見られるものの、学習に対する意識の改善傾向、特別支援教育や外国語活動・英語教育、情報教育の数値目標の達成状況などを勘案し、この評価とした。</p>		
教育委員の意見・指摘	<p>・特別支援教育の充実における数値目標について、年度目標に合った数値目標の実績となるよう工夫すること。</p>		

令和元年度実施 平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策 主な取組※	事務事業名※ 概要※	H30年度目標 及び数値目標	取組状況及び成果	個別事業 評価
2-1 ①学力の 向上を図 る学びの 充実	<p>全国学力・学習状況調査 中学校3年生に対して調査を 実施し、その結果を分析するこ とにより課題解消に向けての取 組を行う。</p>	<p>全国学力・学習状況調査の結果 に見られる課題の解決に向けた指 導方法の工夫改善を促進するた めに、教職員研修会の開催及び情報 提供を行う。</p> <p>【数値目標】 ※全国学力・学習状況調査の質問 紙調査において、「学校の授業時 間以外に平日1時間以上学習して いる」と回答する生徒の増加を図 る。 <参考値> H29年度回答率</p> <p>※全国学力・学習状況調査におい て、各調査教科A・Bともに全国 平均値程度の学力を身につけるよ う取り組む。「各調査教科A・Bの 学力」の参考値を上回る。 <参考値> H29年度正答率 (組合)</p>	<p>全国学力・学習状況調査の結果を分析し、課題の解決にお け、指導方法などの工夫改善を図った。</p> <p>【数値目標の実績】 ※「学校の授業時間以外に平日1時間以上学習している」 H30年度：前年度を下回った</p> <p>※「各調査教科A・Bの学力」 H30年度：国語A-ほぼ同値 国語B-下回った 数学A-上回った 数学B-ほぼ同値</p>	○
2-1 ①学力の 向上を図 る学びの 充実	<p>少人数学級実施事業 中学校1年生33人学級、中 学校2・3年生35人学級を 実施し、一人一人に応じたきめ細 かな指導の充実を図る。</p>	<p>すべての学年において少人数学 級を実施する中で、学習内容や生 徒の実態に応じた多様な学級形態 を推進する。</p> <p>【数値目標】 ※鳥取県学級編制基準を充たす人 数の教職員の配置</p>	<p>一人一人の学びに応じた多様な支援・指導を推進した。</p> <p>【数値目標の実績】 H30年度：鳥取県独自の学級編制基準に該当する学級が なかったため、配置していない。</p>	-

基本施策 主な取組※	事務事業名※ 概要※	H30年度目標 及び数値目標	取組状況及び成果	個別事業 評価
2-1 ②特別支援教育の 充実	特別支援教育の充実 個別の支援が必要な生徒に対する支援の充実を図る。	<p>校内支援体制の整備や個別の指導計画等の活用を図りながら、継続的な教育支援を行う。</p> <p>【数値目標】 ※全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、「授業の内容がよくわかる」という項目について肯定的な回答の増加を図る。</p> <p>※特別支援教育に関する校内研修を実施する。</p>	<p>ユニバーサルデザインの授業づくりを行い、「わかる」「できる」という実感を大切に指導に努めた。</p> <p>【数値目標の実績】 ※質問紙調査結果 H30年度：数学（国語は質問項目なし）について、前年度を大きく上回った。</p> <p>※研修実施 H30年度：研修を実施した。</p> <p>【成果】 通常学級に在籍する発達障がいのある生徒をはじめとする支援が必要な生徒に対して、ユニバーサルデザインの授業づくりや、個に応じた支援を工夫する体制が整いつつある。</p>	◎
2-1 ③外国語活動・英語教育の 充実	英語指導助手活用事業 英語指導助手（ALT）を中学校に配置し、英語の時間に活用する。	<p>英語科の授業において、英語指導助手（ALT）を活用し、授業内容の充実や学力の定着を図る。</p> <p>【数値目標】 全学級において、英語指導助手（ALT）を活用した授業を行う。</p>	<p>全学級で年間を通して、英語指導助手（ALT）を活用し、生徒の意欲を高めることができた。</p> <p>【数値目標の実績】 H30年度：全学級で実施</p> <p>【成果】 委託業者によりALTを配置し、質の高い外国語の指導が実現した。</p>	◎
2-1 ④図書館教育の 充実	図書館教育の充実事業 司書教諭、学校司書、地域ボランティアの連携による読書活動の充実と、学校図書館の活用による学習の充実を図る。	<p>図書館教育の充実のために、学校司書を対象とした年間7回の研修会、司書教諭と合同の研修会を2回実施する。</p> <p>【数値目標】 ※研修会を年7回、学校司書と司書教諭の合同研修会を年2回実施する。</p> <p>※全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、「学校の授業時間以外に、家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（10分以上）」と回答する生徒の割合が前年度数値とほぼ同値または上回るよう努める。</p>	<p>図書館教育の充実のための研修会を年間7回、学校司書、司書教諭との合同研修会を年間2回実施した。</p> <p>【数値目標の実績】 ※研修会の開催 H30年度…目標どおり実施できた</p> <p>※質問紙調査結果 H30年度…前年度を下回った</p> <p>【成果】 学校図書館の活用や家庭との連携により、生徒の読書活動を推進することができた。</p>	○

基本施策 主な取組※	事務事業名※ 概要※	H30年度目標 及び数値目標	取組状況及び成果	個別事業 評価
2-1 ⑤情報教育充実	情報モラル教育普及事業 中学校における情報モラル教育の推進について情報モラルカリキュラムを作成し、関係機関と連携して取り組む。	淀江中学校区において作成した9年間を見通したモデルカリキュラムをもとに、情報モラルカリキュラムを作成し活用することで、情報モラル教育の充実を図る。また、淀江中学校区モデルカリキュラムを配布する。 【数値目標】 ※情報モラルカリキュラムを見直し、活用する。	9年間を見通した情報モラル教育のモデルカリキュラムをもとに、中学校がカリキュラムの見直しや作成を行い、情報モラル教育の充実を図った。情報モラル教育の年間指導計画については、情報モラル教育を含めた情報教育年間指導計画を作成した。 【数値目標の実績】 H30年度：情報モラルカリキュラムの見直し及び活用を実施 【成果】 教職員や保護者を対象とした研修会等を通じて、情報モラルへの見識を高めることができた。	◎

令和元年度実施
平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 教育総務課 学校管理担当

基本施策	番号	2-2			
	項目名	安全で安心な学校施設の改善			
	概要	<p>老朽化が進行している学校施設の大規模改修を実施し、教育環境の改善と施設の長寿命化を図る。</p> <p>また、地震等の災害発生時に児童生徒の安全を確保するとともに、地域住民の避難所としての役割を果たすため、非構造部材の耐震化に努める。</p>			
所管	教育総務課 学校管理担当				
主な取組※ (事務事業名)	番号	事務事業名※	個別事業評価※		
	②	学校施設整備（改修）事業	◎		
	①	学校施設大規模改修・非構造部材の耐震化	H29年度事業完了		
取組状況の総括	<p>【成果と課題】</p> <p>学校施設整備（改修）事業については、計画どおりに進捗を図ることができた。</p> <p>施設の維持管理については、老朽化により改修、修繕が必要となる箇所が増えている現状がある。</p> <p>【改善策】</p> <p>生徒の安全に関わるもの、授業に影響を及ぼすものを最優先とし、対応していく。</p>				
基本施策評価※ (総合評価)	S	Ⓐ	B	C	D
評価理由※	事業の工事等について完了したが、今後も施設の老朽化対策という喫緊の課題に取り組む必要があることから、この評価とした。				
教育委員の意見・指摘	特段の意見及び指摘事項なし。				

令和元年度実施 平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票（個別事業） 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策 主な取組*	事業事業名* 概要*	H30年度目標 及び数値目標	取組状況及び成果	個別事業 評価
2-2 ②学校施設整備 (改修)事業	学校施設整備(改修)事業 児童生徒の安全に関わるもの、授業などに影響を及ぼすもの、及び施設を維持する上で必要なもの等の整備(改修)を行う。	・箕蚊屋中学校の 屋内運動場下屋改修 【数値目標】 ※実施率100%	箕蚊屋中学校の屋内運動場下屋改修を計画通り実施した。 【数値目標の実績】 ※実施率100% 【成果】 生徒の安全を確保し、教育環境の改善を図るとともに、施設の長寿命化を図ることができた。	◎
2-2 ①学校施設大規模改修・非構造部材の耐震化	学校施設大規模改修・非構造部材の耐震化 ・学校施設大規模改修 老朽化が進行している学校施設の構造体の長寿命化やライフラインの更新等を行い、児童生徒の安全安心を確保し、教育環境の改善及び施設の長寿命化を図る改修を行う。 ・非構造部材の耐震化 H29年度で事業完了	平成29年度事業完了	—	—

令和元年度実施
平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 教育総務課 学校管理担当

基本施策	番号	2-3			
	項目名	環境に配慮した学校教育環境整備の推進			
	概要	学校施設の維持管理に必要な管理・修繕工事の実施にあわせて、教育環境の充実や施設のバリアフリー化と老朽化した施設の長寿命化に際して、環境に配慮した学校施設整備を計画的に推進する。			
所管	教育総務課 学校管理担当				
主な取組※ (事務事業名)	番号	事務事業名※		個別事業評価※	
	①	学校施設維持管理事業		◎	
	②	学校施設のバリアフリー化事業		非該当	
取組状況の総括	<p>【成果と課題】</p> <p>図書館のエアコンを環境に配慮した省エネタイプの機種へ更新し、環境負荷の軽減に取り組んだ。</p> <p>引き続き老朽化した設備の更新において、積極的に省エネタイプの機種の更新に努める。</p> <p>【改善策】</p> <p>学校施設の改修等の際には、地球温暖化等の環境問題に対応するため、引き続き環境に配慮した部材等の使用を積極的に進めていく。</p>				
基本施策評価※ (総合評価)	S	(A)	B	C	D
評価理由※	地球温暖化等の環境問題や様々な社会的要請に適切に対応するため、今後も施設の改修等を計画的に推進していく必要があることから、この評価とした。				
教育委員の 意見・指摘	<ul style="list-style-type: none"> ・特別教室のエアコンなど老朽化した設備について、順次更新を進めること。 ・学校は避難所になるので、バリアフリー化をさらに充実してほしい。 				

②箕蚊屋中学校は、エレベーター、玄関及び屋内運動場スロープ設置済みのため、学校施設のバリアフリー化事業は非該当とする。

令和元年度実施 平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票（個別事業） 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策 主な取組*	事務事業名* 概要*	H30年度目標 及び数値目標	取組状況及び成果	個別事業 評価
2-3 ①学校施設維持管理事業	学校施設維持管理事業 学校施設の維持管理に必要な改修工事等の実施にあたり、環境負荷の軽減につながる部材等の採用に努める。	平成30年度該当なし <参考値> H29年度 武道場 吊り天井対策事業 に伴い照明改修 「LED照明を採用」	学校施設の改修等の際には、地球温暖化等の環境問題に対応するため、引き続き環境に配慮した部材等の使用を積極的に進めていく。 箕蚊屋中学校の図書館エアコンの故障により環境に配慮した機種に更新した。 【H30年度の実績】 図書館エアコンの更新 【成果】 環境に配慮した機種への更新により、環境負荷の軽減に寄与した。	◎
2-3 ②学校施設のバリアフリー化事業	学校施設のバリアフリー化事業 障がいのある児童生徒が支障なく学校生活を送れるよう、また、地域コミュニティの拠点及び避難所として十分な機能を果たすよう、スロープ等整備に努める。	非該当		-

令和元年度実施
平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 教育総務課 学校管理担当

基本施策	番号	2-4	
	項目名	学校のICT環境の整備	
	概要	ICT機器の利用が児童生徒の学習への興味関心を高め、教え合い学び合う協働学習にも有効と考えられることから、段階的にインフラ、ICT機器の整備を行い、併せて学校業務支援システムの導入と活用により、教育の情報化の推進を図る。	
所管	教育総務課 学校管理担当		
主な取組* (事務事業名)	番号	事務事業名*	個別事業評価*
	②	ICT機器整備事業	◎
	①	インフラ整備事業	H29年度事業完了
	③	学校業務支援システム導入事業	H29年度事業完了
取組状況の総括	<p>【成果と課題】 箕蚊屋中学校と米子市内の中学校の代表者によるICT機器等を選定する委員会を開催し、意見集約したが、学校により活用状況等が異なるため、最適なICT機器等の配備については、十分な検討が必要である。</p> <p>【改善策】 学校の代表者によるICT機器等を選定する委員会の意見も聴取しながら、より効果的な機器等の配備について検討を行う。</p>		
基本施策評価* (総合評価)	S A ③ C D		
評価理由*	ICT機器等の選定委員会の開催により、学校のICT機器活用の現状や、実際に学校が求めている環境等について確認したが、最適なICT機器等の配備を行うためには、様々な課題に取り組む必要があることから、この評価とした。		
教育委員の 意見・指摘	<ul style="list-style-type: none"> 教科書にあわせた授業を行うので、学校でのICT機器等の導入は統一された方が良いと思う。 学校におけるICT機器活用事例で、良い取り組みを共有するなど、効率的・効果的な活用を検討してはどうか。 		

令和元年度実施 平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票（個別事業） 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策 主な取組*	事務事業名* 概要*	H30年度目標 及び数値目標	取組状況及び成果	個別事業 評価
2-4 ② ICT 機器整備事 業	ICT機器整備事業 ・教育用パソコン等の再整備 老朽化の進む、主にパソコン教室内 に整備されている、教育用パソコン等 の機器の更新に合わせて、タブレット 端末等の整備、無線LAN機器の増強を 進める。	より効果的な教 育用パソコン等 の再整備を実施 するため、小中 学校の代表者 による機器 等を選定する 委員会の開催。 【数値目標】 ※選定委員会開催 回数 2回	ICT機器活用の現状や学校が求める環境等 について、小中学校の代表者に意見聴取し、 今後、より効果的な教育用パソコン等の機器 等を整備するための検討を行った。 【数値目標の実績】 ※選定委員会を2回開催 【成果】 学校のICT機器活用の現状や、実際に学校 が求めている環境等について、確認すること ができた。	◎
2-4 ①インフラ 整備事業	インフラ整備事業 市役所と学校間のインターネット回 線の高速化及び学校内の有線LANの 整備等のインフラ整備を行う。	平成29年度事業完了	—	—
2-4 ③学校業 務支援シ ステム導 入事業	学校業務支援システム導入事業 県内統一の業務支援システムを導入 し、円滑なシステム利用により校務の 効率化を図る。	平成29年度事業完了	—	—

令和元年度実施
平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 教育総務課 教育企画室

基本施策	番号	2-5			
	項目名	通学路の安全確保			
	概要	児童生徒が安全に安心して通学するため、米子市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関が連携して危険箇所の安全対策を推進し、通学路の安全確保を図る。			
所管	教育総務課 教育企画室				
主な取組※ (事務事業名)	番号	事務事業名※	個別事業評価※		
	①	通学路の安全確保に係る連絡協議会と合同点検	◎		
	②	危険箇所における安全対策と効果把握による対策の改善	◎		
取組状況の総括	<p>【成果と課題】</p> <p>関係機関が連携して現地確認及び対策を検討し、危険箇所の多角的な交通安全対策を図った。新たに通学路沿いのブロック塀についても点検した。</p> <p>引き続き、通学路沿いのブロック塀の危険箇所について2次点検を行い安全確保に努める。</p> <p>【改善策】</p> <p>交通安全をはじめ、通学路の総合的な安全対策を進めることで、生徒のさらなる安全確保策を充実する。</p>				
基本施策評価※ (総合評価)	S	Ⓐ	B	C	D
評価理由※	<p>交通安全対策の取組は、順調に進捗し、新たに通学路沿いのブロック塀など防災の観点の危険箇所の対策に取り組んだ。</p> <p>危険箇所によってはハード対策の実施が困難であり、通学路の変更等、ソフト対策も含めて総合的に生徒の安全を確保する必要がある。</p>				
教育委員の意見・指摘	特段の意見及び指摘事項なし。				

令和元年度実施 平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票（個別事業） 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策 主な取組※	事務事業名※ 概要※	H30年度目標 及び数値目標	取組状況及び成果	個別事業 評価
<p>2-5 ①米子市内 通学路の安 全確保に係 る連絡協議 会の開催と 合同点検の 実施</p>	<p>米子市内通学路の安全確保に係る連絡協議会の開催と合同点検の実施 米子市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関が連携して合同点検を実施し、安全対策を推進する。</p>	<p>・連絡協議会の開催</p> <p>【数値目標】 連絡協議会の開催回数 2回 <参考値> H29年度実績 2回</p> <p>・合同点検の実施</p> <p>【数値目標】 新規危険箇所の点検割合 100% <参考値> H29年度実績 100%</p>	<p>・箕蚊屋中学校と米子市内通学路の安全確保に係る連絡協議会 学校代表、警察、道路管理者、教育委員会事務局をメンバーとして、平成30年度は2回開催し、危険箇所の把握と対策について協議した。</p> <p>【数値目標の実績】 2回 ・通学路の危険箇所の合同点検 箕蚊屋中学校の新規危険箇所2箇所を合同点検した。</p> <p>【数値目標の実績】 100%</p> <p>【成果】 ・関係機関が連携することで多角的な交通安全対策を検討し、学校における生徒の交通安全指導に活用した。 ・危険箇所の現場を確認し、ハード面とソフト面から実施可能な対策を協議し、状況に応じた効果的な対策を行った。</p>	<p>◎</p>
<p>2-5 ②危険箇所 における安 全対策の実 施と効果把 握による対 策の改善・ 充実</p>	<p>危険箇所における安全対策の実施と効果把握による対策の改善・充実 米子市通学路交通安全プログラムに基づき、ハード対策の効果を把握して危険箇所の改善対策の充実に努める。</p>	<p>・危険箇所における安全対策の実施と効果把握による対策の改善・充実</p> <p>【数値目標】 ・新規危険箇所のうち合同点検を実施した箇所の中でハード対策を予定する箇所の割合 50%以上</p> <p><参考値> H29年度実績 該当なし</p>	<p>・全ての新規危険箇所の2箇所で合同点検を実施し、道路沿い水路の改修が1箇所、道路側溝の蓋かけが1箇所でハード対策の実施予定となった。</p> <p>【H30年度実績】 100%</p> <p>【成果】 ・合同点検を行うことで各関係機関が行うハード対策に目標どおり取り組み、対策の充実につながった。</p>	<p>◎</p>

令和元年度実施

平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 教育総務課 教育企画室

基本施策	番号	2-6			
	項目名	学校図書館の充実			
	概要	心豊かな感性を育み、自ら学ぶ力を育む学校図書館は子どもたちの健全育成と学習支援を行う重要な拠点であり、蔵書数の充実に加えて、本の読み聞かせや朝読書など、児童生徒に読書に興味を持たせ、親しめる図書館づくりに努める。			
所管	教育総務課 教育企画室				
主な取組※ (事務事業名)	番号	事務事業名※		個別事業評価※	
	①	学校図書館運営事業		◎	
取組状況の総括	<p>【成果と課題】</p> <p>生徒が本や読書に親しませる活動に取り組み、生徒1人当たりの年間貸出冊数は増加したが、さらなる向上が必要といえる。</p> <p>【改善策】</p> <p>子どもたちの健全育成と学習支援を行う重要な拠点とし、夏季休業中の活用方策を提案することで、貸出冊数の一層の増加を図る。</p>				
基本施策評価※ (総合評価)	S	Ⓐ	B	C	D
評価理由※	生徒1人当たりの年間貸出冊数は増加したものの、生徒が本や読書に親しむ活動に取り組み、読書に興味を持たせ、貸出冊数の増加を図る方策を引き続き取る必要がある。				
教育委員の 意見・指摘	・基本施策2-1④図書館教育の充実において、読書時間の質問紙調査結果が前年度を下回っているにもかかわらず、1人当たりの年間貸出冊数は前年度から増加しており、この要因を分析して図書館教育の充実につなげるような目標設定を工夫してもらいたい。				

令和元年度実施 平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票（個別事業） 様式1
 米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策 主な取組※	事業事業名※ 概要※	H30年度目標 及び数値目標	取組状況及び成果	個別事業 評価
2-6 ①学校図書館運営事業	学校図書館運営事業 学校図書館は、心豊かな感性を育み、自ら学ぶ力を育む重要な拠点であり、蔵書数の充実に加えて学校司書は司書教諭と連携して児童生徒に読書に興味を持たせ、親しめる図書館づくりに努める。	・子どもたちを本や読書に親しませる活動を推進することにより、生徒1人当たりの年間貸出冊数の増加に努める。 【数値目標】 ※目標値21冊／人 <参考値> H29年度 20冊／人 年間貸出冊数 9,737冊 生徒数 475人	蔵書数の充実に努めるとともに、図書館まつり等の開催など、生徒を本や読書に親しませる活動を学校司書と司書教諭が協力して取り組み、生徒1人当たりの年間貸出冊数の増加に努め、貸出冊数が目標値を達成した。 【数値目標の実績】 H30年度 ※生徒1人当たりの年間貸出冊数 24冊／人 年間貸出冊数 11,811冊 生徒数 483人 【成果】 活字に親しむ取り組みにより、生徒1人当たりの年間貸出冊数は増加している。	◎

令和元年度実施

平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会
所属 学校教育課 指導担当

基本施策	番号	4-1		
	項目名	健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成		
	概要	<p>子どもを取り巻く生活環境の急激な変化などの要因により、体力・運動能力の低下、二極化傾向、外的要因による健康被害など、体力向上や健康の保持増進に係る問題が喫緊の課題となっている。また、多様化する現代的課題に対して、子どもの安全・安心に対する懸念が広がっている。さらに、命の重みに対する感受性が弱まっていることも指摘されている。</p> <p>こうしたことから、小学校と連携して、子どもの体力・運動能力の向上、健康で安全な生活、自他の命を大切にする態度や実践力の育成に努める。</p>		
所管	学校教育課 指導担当			
主な取組※ (事務事業名)	番号※	事務事業名※		個別事業評価※
	①	体力・運動能力の向上を図る取組の充実		○
	③	いのちの教育の充実		◎
	②	健康教育の充実		○
	④	安全教育の充実		◎
取組状況の総括	<p>【成果と課題】</p> <p>鳥取県体力・運動能力調査の総合判定結果において、前年度参考値を男子が大きく上回り、数値目標を達成したものの、逆に女子が下回るなど、体力向上に課題が残る。一方、睡眠時間の確保については数値目標を達成しており、良好な状況であるものの、朝食の摂取率が相対的に低いなど、生活習慣の改善に課題が残る。</p> <p>【改善策】</p> <p>体力向上については、学年別・男女別・種目別の課題を明らかにし、焦点化した取組を推進する。生活習慣について、家庭や関係機関と連携を図りながら、改善に向けた啓発や取組を推進していく。</p>			
基本施策評価※ (総合評価)	S (A) B C D			
評価理由※	体力・運動能力や運動・生活習慣に係る相対的な数値に一部課題が残るものの、総体的な数値や、専門機関との連携を図った取組状況などは良好であり、この評価とした。			
教育委員の意見・指摘	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県体力・運動能力調査の結果を受けて、学校が体育の授業において体力向上に具体的にどのように取り組むか確認してもらいたい。 ・学校における体力向上の取り組みを保護者へ伝えることで、家庭でできることに取り組めるので学校と保護者との連携をより密接にすること。 			

令和元年度実施 平成30年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策 主な取組※	事務事業名※ 概要※	H30年度目標 及び数値目標	取組状況及び成果	個別事業 評価
4-1 ①体力・運動能力の向上を図る取組の充実	鳥取県体力・運動能力調査 発達段階に応じた適切な運動を行ったり運動能力を高めたりするため、指導方法の工夫改善を図り、児童生徒の体力・運動能力の向上に努める。また、運動の楽しさや喜びを実感させることにより、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現に向けた意欲と実践力の育成に努める。	鳥取県体力・運動能力調査結果(小中全学年対象)の総合判定において、A～Eの5段階のうち、A～Cの割合の向上を目指す。 【数値目標】 ※「参考値とほぼ同値または上回る」 <参考値> H29年度の割合	体育の授業の導入における体づくりを工夫して取り組んだ。 【数値目標の実績】 H30年度：中学校男子については参考値を上回ったが、中学校女子は下回った。 【成果】 男子は取組の成果によって、ほぼすべての種目で平均値を上回る結果だった。一方、女子は投力こそ平均値を上回ったが、持久力や俊敏性、柔軟性に課題が見られた。女子の基礎体力向上を図るためには、調査結果を分析した上で、より工夫を凝らした取組を進める必要がある。	○
4-1 ③いのちの教育の充実	学校教育実施状況調査における「非行・喫煙・飲酒・薬物乱用防止関連」の調査 心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となる喫煙、飲酒、薬物乱用やメディア依存などに関する理解を深めるとともに、健康を害する状況に陥らないようにするための思考力・判断力の育成に努める。また、人間の誕生の喜びや生きることの尊さを知り、自他の生命を尊重しようとする態度や実践力の育成に努める。	学校教育実施状況調査における「非行・喫煙・飲酒・薬物乱用防止関連」の調査結果において、専門機関との連携をとりながら教育の充実に努める。 【数値目標】 ※年に1回以上、専門機関との連携を図る。 専門機関と連携を取りながら、自他の生命を尊重する教育の充実に努める。 【数値目標】 ※年に1回以上、専門機関との連携を図る。	児童生徒を取り巻く環境が複雑になり、非行防止教室や講演会などを実施し、学校と警察、医療、福祉関係などの専門機関との連携を進めた。 近年、メディアとの付き合い方に関する理解を深めるための取組を進めた。 【数値目標の実績】 ※警察関係者を講師として招聘し、ネット犯罪被害防止や薬物乱用防止等の授業を行うなど、専門機関との連携をとりながら教育の充実に努めた。 【数値目標の実績】 ※産婦人科の看護師を講師として招聘し、生命を尊重する教育について取り組むなど、専門機関と連携を取りながら、自他の生命を尊重する教育の充実に努めた。 【成果】 専門機関と連携し、より専門的な話や、体験に基づいた説得力のある話を生徒が聞くことで、自他の生命を大切にしようとする態度の育成が図られた。	◎

基本施策 主な取組※	事務事業名※ 概要※	H30年度目標 及び数値目標	取組状況及び成果	個別事業 評価
4-1 ②健康教育 の充実	<p>全国体力・運動能力・運動習慣等調査</p> <p>児童生徒の健康の保持増進を図るため、健康に関する保健指導を行うとともに、定期健康診断を実施し、疾病の防止や早期発見に努めます。また、保健の学習を中心に基本的な生活習慣の定着に努めます。</p>	<p>全国体力・運動能力・運動習慣等調査（中学校2年生対象）の児童生徒質問紙調査における「朝食を毎日食べる」と答える児童生徒の増加を目指す。</p> <p>【数値目標】 ※「全国平均値を上回る」 H29年度 [中学校男子]：82.4%、 [中学校女子]：79.5%</p> <p>【数値目標】 ※「1日の睡眠時間」が8時間以上と答える児童生徒の増加を目指す。 ＜参考値＞H29年度 [中学校男子]：28.8%、 [中学校女子]：22.6%</p>	<p>全国体力・運動能力・運動習慣等調査の児童生徒質問紙調査結果から、男女ともに全国平均値を下回った。その背景となる実態の把握とともに、児童生徒及び家庭への啓発にさらに力を入れていく。</p> <p>【数値目標の実績】 H30年度：中学校男子、女子ともに、大きく下回った。</p> <p>今後も、各調査から見える課題を分析した結果を具体化した事項を各学校へ周知し、中学校区・PTAとも連携した取組の中で改善を図っていく。また、各機関と連携した児童生徒への授業・講演会等を積極的に取り入れ、児童生徒の健康安全・自他の命を大切にしてい意識の向上をさらに図っていく。</p> <p>【数値目標の実績】 H30年度：中学校男子、女子ともに、大きく上回った。</p> <p>【成果】 睡眠時間は男女ともに全国平均を上回っているが、一方で朝食を毎日食べる生徒は男女ともに全国を下回った。基本的な生活習慣の一層の定着を図るために、特に朝食をきちんとするよう生徒に指導するだけでなく、家庭への啓発に力を入れて取り組んでいく必要がある。</p>	○
4-1 ④安全教育 の充実	<p>学校教育実施状況調査における、「応急手当・心肺蘇生関連、交通安全関連、防犯関連」の調査</p> <p>身の回りの生活における危険から身を守るために、各々の要因の理解、予測する力の育成、状況に応じた適切な対策をとるなどの実践力の育成に努める。また、自然災害・人的災害などへの備えや、災害発生時及び発生後に周囲の状況に応じて安全に行動することなど、防災教育を通して災害から身を守る態度や実践力の育成に努める。</p>	<p>学校教育実施状況調査における、「応急手当・心肺蘇生関連、交通安全関連、防犯関連」の調査結果において、専門機関との連携をとりながら教育の充実を図る。</p> <p>【数値目標】 ※年1回以上、専門機関との連携を図る</p>	<p>専門機関との連携をとりながら安全教育の充実を図っている。</p> <p>【数値目標の目標】 ※専門機関との連携をとりながら教育の充実を図ることができた。</p> <p>【成果】 専門機関と連携をとりながら、様々な場面を想定したり、具体的な対応を経験したりすることで、児童生徒の防災や安全に対する意識が高まった。</p>	◎

10 学識経験者の知見

点検・評価の客観性を高めるため、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用することとしており、8月8日に、次の方々から点検・評価に関する意見聴取を行いました。

小谷幸久氏（社会教育委員、米子市文化協議会会長）

高橋喜美子氏（就将公民館運営審議会委員、元小・中学校PTA会長）

田口立身氏（元米子市教育委員長）

学識経験者による主なご意見・ご指摘については、次のとおりです。

全体を通したものとして、基本施策評価において、評価と課題は分けて記述するようにとの指摘がありました。

番号	学識経験者の意見・指摘
基本施策	
1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・主な取組③生徒指導の充実において、「楽しく安全な学校づくりサミット」を通して小中学生が一緒に活動するのは、小学生が中学生からリーダーシップや自治を学ぶ良い取り組みで、保護者にも子どもの考えが伝わることで良い影響を及ぼすと思う。 ・スクールソーシャルワーカーを活用して地域での子どもの様子から問題を把握できるので、地域と学校の情報共有において連携を強める工夫をすること。 ・地域には、民生委員や保護司が活動しているので、学校でも児童生徒の支援に活用してほしい。
2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成	長時間のSNSやインターネット利用において、悪口を書き込むなど間違った使い方は子どもにとって大きな問題であり、情報モラル教育にしっかりと取り組んでもらいたい。
2-2 安全で安心な学校施設の改善	「評価理由」に施設の老朽化といった課題が記載してあるが、評価と課題は分けて記述するよう検討してほしい。
4-1 健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・③いのちの教育の充実及び④安全教育の充実を図る取組を進めること。 ・基本的生活習慣の朝ご飯を食べない子どもがいるので、「早寝、早起き、朝ご飯」の取組を徹底することで学習へ集中する。

米子市教育振興基本計画体系図

別紙

基本目標	目指す子ども・成人の姿	基本施策	主な取組
<p>1 心を育む学びのあるまち</p> <p>心の豊かさを持つとともに生きがいがある豊かな暮らしを送れるよう、人と人との関わり合いの中で、互いに認め合いながら心の交流を図ることのできる学びの機会の提供に努めます。</p>	<p>○ 互いの違いを認め合いながら、自他の命の大切さを自覚できます。</p> <p>○ あいさつ、感謝など自分の気持ちの表現ができることにも、課題解決のための行動がとれます。</p> <p>○ 自他の命の大切さを意識しながら、他人を思いやる心と態度が備わっています。</p> <p>○ 自ら率先してあいさつを交わし、社会のきまりやモラルが守れるまちづくりを目指しています。</p>	<p>1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成 学校教育課</p> <p>1-2 青少年の健全育成 生涯学習課</p> <p>1-3 青少年団体の育成支援 生涯学習課</p> <p>1-4 青少年の非行防止 生涯学習課</p>	<p>①心の教育の充実 ②人権教育の充実 ③生徒指導の充実 ④キャリア教育の充実 ⑤環境教育の充実</p> <p>①児童文化センター運営事業 ②小中学生国際交流事業 ③新リーダー育成事業 ④成人式の企画・開催 ①青少年団体活動支援事業</p> <p>①青少年育成センター運営事業</p>
<p>2 学ぶ楽しさのあるまち</p> <p>学んだことをいかしながら創造力と実践力が育まれるよう、どの世代においても様々な体験を通して発見や豊かな学びが獲得できる場の提供に努めます。</p>	<p>○ 学ぶ楽しさを知り、自ら進んで学ぼうとする姿勢があります。</p> <p>○ 学んだことを生活や行動にいかそうという意識を持っています。</p> <p>○ 学習の基礎・基本がしっかり身についています。</p> <p>○ 生涯を通じて学ぶ楽しさを身につけ、学んだことをいかし、自己実現に努めています。</p> <p>○ 学んだことをまちづくりにいかしています。</p>	<p>2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成 学校教育課</p> <p>2-2 安全で安心な学校施設の改善 教育総務課</p> <p>2-3 環境に配慮した学校教育環境整備の推進 教育総務課</p> <p>2-4 学校のICT環境の整備 教育総務課</p> <p>2-5 通学路の安全確保 教育総務課</p> <p>2-6 学校図書館の充実 教育総務課</p> <p>2-7 子ども地域活動の支援 生涯学習課</p> <p>2-8 子ども読書活動の推進 市立図書館</p> <p>2-9 子どもの芸術文化とのふれあい推進 文化課</p> <p>2-10 子どものための文化財の活用 文化課</p> <p>2-11 公民館運営の充実 生涯学習課</p> <p>2-12 公民館の整備 生涯学習課</p> <p>2-13 生活に役立つ図書書の充実 市立図書館</p> <p>2-14 市民文化の振興 文化課</p> <p>2-15 文化財を学ぶ環境づくり 文化課</p>	<p>①学力の向上を図る学びの充実 ②特別支援教育の充実 ③外国語活動・英語教育の充実 ④図書館教育の充実 ⑤情報教育の充実</p> <p>①学校施設大規模改修・非構造部材の耐震化 ②学校施設整備(改修)事業</p> <p>①学校施設維持管理事業 ②学校施設のバリアフリー化事業 ③下水・農業集排水接続事業</p> <p>①インフラ整備事業 ②ICT機器整備事業 ③学校業務支援システム導入事業</p> <p>①米子市内通学路の安全確保に係る連絡協議会の開催と合同点検の実施 ②危険箇所における安全対策の実施と対策効果の検証と対策の充実</p> <p>①学校図書館運営事業 ①公民館運営事業-子ども地域活動の支援 ①ブックスタート支援とおはなし会の実施 ②学校図書館の支援と連携の充実 ③子ども読書活動推進事業の実施</p> <p>①芸術文化事業(児童生徒を対象とした芸術文化事業) ②学校公演事業(芸術文化による子どもの育成事業) ③芸術活動支援事業(アートスタート活動支援事業)</p> <p>①埋蔵文化財保存活用事業</p> <p>①公民館運営事業-広報事業 ②公民館運営事業-社会教育講座 ③公民館運営事業-体育・文化事業 ④公民館運営事業-ひとづくり・まちづくり事業</p> <p>①公民館施設等整備事業 ②明道公民館整備方針と加茂公民館移転事業 ①生活充実図書整備事業 ①文化ホール管理運営事業 ②淀江文化センター管理運営事業 ③公会堂管理運営事業 ④美術館管理運営事業</p> <p>①埋蔵文化財活用事業</p>

米子市教育振興基本計画体系図

基本目標	目指す子ども・青少年・成人の姿	基本施策	主な取組
<p>3 郷土で育む学びのあるまち</p> <p>米子の財産である豊かな自然や歴史・文化遺産を保護・保存・継承・活用していくとともに、その魅力と価値を発信しながら、市民が郷土に誇りを持つる学びの創造に努めます。</p>	<p>○ 米子の地理や歴史を学びながら、米子の自然や伝統・文化を理解しています。</p> <p>○ 郷土である米子を愛し、誇りを持ち大切にしています。</p> <p>○ 米子の自然や伝統・文化を理解し、継承・発信に努めています。</p> <p>○ 郷土である米子を愛し、誇りを持ってまちづくりを進めています。</p>	<p>3-1 歴史的文化的遺産の保存・活用</p> <p>3-2 地産地消の推進</p> <p>3-3 生涯学習活動の推進</p> <p>3-4 芸術文化活動の推進</p> <p>3-5 文化財の保存・活用</p>	<p>①山陰歴史館管理運営事業</p> <p>①学校給食における地産地消の推進</p> <p>②生産者と児童生徒の交流の実施</p> <p>③児童生徒から募集した地元食材を利用した献立の提供</p> <p>①社会人向け講座開催事業-米子人生大学の開催</p> <p>②社会人向け講座開催事業-よなごアカデミーの開催</p> <p>①市民参加による芸術文化事業の推進</p> <p>②秋の文化祭の開催</p> <p>①史跡上流寺跡保存整備事業</p> <p>②埋蔵文化財センター管理運営事業</p>
<p>4 健康で安心して学べるまち</p> <p>生涯にわたり健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康に関する情報発信や啓発を行いながら、誰もが目的や年齢等に応じたスポーツに親しむことができる環境の提供と全ての施設で安心して学べる環境整備に努めます。</p>	<p>○ 規則正しい生活をして、「早寝・早起き・朝ご飯」が実践できます。</p> <p>○ 食生活の大切さを理解するとともに、スポーツを通して健康的な体づくりを目指しています。</p> <p>○ 規則正しい生活と適切な食生活を送り、健康な体づくりに努めています。</p> <p>○ 自ら進んでスポーツに親しみ、体力の増進に努めています。</p>	<p>4-1 健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成</p> <p>4-2 子どものスポーツ活動の推進</p> <p>4-3 安全で安心な学校給食の安定供給</p> <p>4-4 食育の推進</p> <p>4-5 健康教育と家庭教育の推進</p> <p>4-6 成年齢からのスポーツ活動の推進</p> <p>4-7 地域スポーツ活動の推進</p> <p>4-8 競技力の向上</p> <p>4-9 スポーツ施設等の充実</p>	<p>①体力・運動能力の向上を図る取組の充実</p> <p>②健康教育の充実</p> <p>③いっしょの教育の充実</p> <p>④安全教育の充実</p> <p>①親子体力づくり大会の開催</p> <p>②少年スポーツ教室の開催</p> <p>③小学生を対象とする各種大会の開催</p> <p>④スポーツ少年団運営事業</p> <p>①調理業者との定期連絡会と調理場の定期検査の実施</p> <p>②学校給食運営委員会の開催</p> <p>③児童生徒及び教職員対象に学校給食アンケートの実施</p> <p>④食物アレルギー対応の適正な実施</p> <p>①給食時間の学校訪問</p> <p>②授業への参画(チーム・ティーチング)</p> <p>③食育に関する保護者への啓発</p> <p>①健康教育講座開催事業</p> <p>②家庭教育支援事業</p> <p>①各種スポーツ大会の開催</p> <p>②市民体育祭の開催</p> <p>③体力づくり歩け大会・体力テストの実施</p> <p>①スポーツ推進委員協議会運営事業</p> <p>②学校体育施設活用事業</p> <p>①スポーツ表彰事業</p> <p>②小学生全国大会出場激励金交付事業</p> <p>①体育施設管理運営事業</p> <p>②公園施設管理運営事業</p>